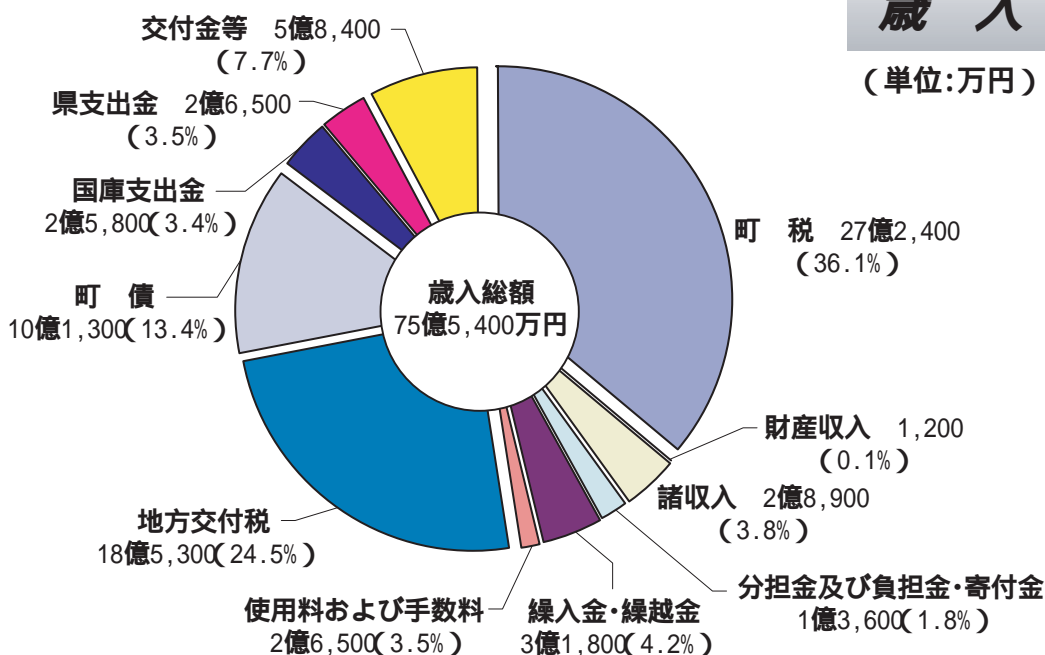


《一般会計 歳入・歳出の内訳》

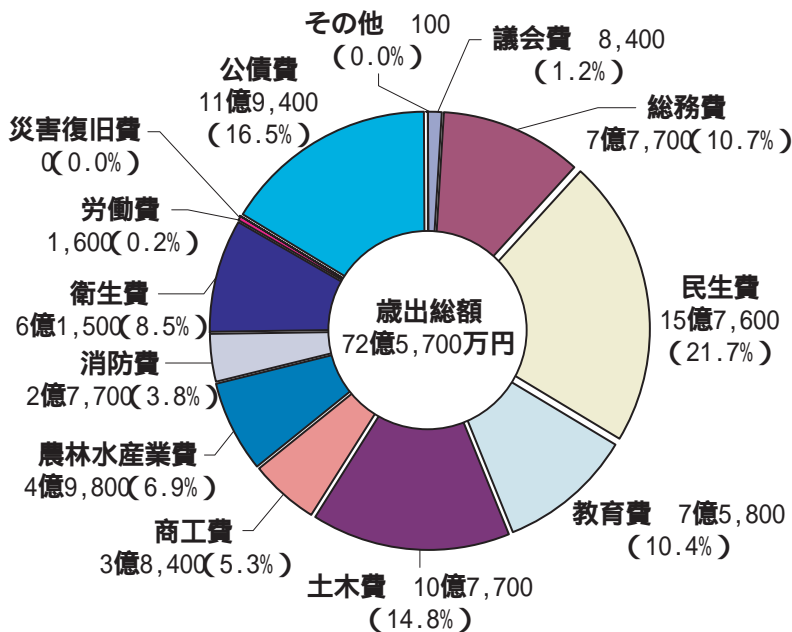
歳入

(単位:万円)



歳出

(単位:万円)



100万円未満を切捨てて、表示しています。

《三位一体改革の影響》

16年度、国の三位一体改革等により、地方(当町)へ税源移譲された額は、所得譲与税、配当割交付金等、約3,000万円でした。

今後、国庫補助負担金等が一般財源化され本格的な税源移譲が予定されています。

【三位一体改革】 地方分権を進めるために、国のお金を地方に一般財源として渡し、地方が自らの支出を、自らの権限・責任・財源で賄う割合を増やすような効率的な財政システムとして改革が進められています。

《地方交付税 6ヶ年の推移》

普通地方交付税は、地方自治体が標準的な行政需要を賄う経費のうち、地方税などで補えない額を国が一定の算定に基づき交付(補填)するものです。

特別交付税はその年における特殊事情を配慮しています。

(単位:万円)

	16年度	15年度	14年度	13年度	12年度	11年度
普通地方交付税	16億8,200	18億3,500	15億8,300	19億8,200	24億1,000	24億3,300
特別交付税	1億7,100	1億8,900	1億6,000	1億4,300	1億6,900	1億5,700
計	18億5,300	20億2,400	17億4,300	21億2,500	25億7,900	25億9,000